



原町小だより「はらまち」

川口市立原町小学校
全校児童数431名

— すべての子供の学びを保障する 笑顔あふれる原町小学校 —

HPアドレス <https://haramachi-kawaguchi.edumap.jp/>

学校支援ボランティアについて

校長 加田 明

原町小学校だより4月号では目指す学校像についてお知らせいたしました。

「すべての子供の学びを保障する学校」という目標は堅苦しいイメージですが、学校は「すべての子供たちにとって、安心して楽しく通える魅力ある環境でなくてはならない」という考えがもとになっています。具体的には経済的な状況や障害の状況、発達の特性、日本語の能力などにかかわらず、誰一人取り残すことなく子供一人一人の可能性を伸ばせる学校ということです。

そのような環境は教職員だけの力では成り立ちません。保護者の皆さんや地域の方々のご理解やご協力が必要です。行事等においては必要に応じて保護者の方にボランティアをお願いしているところですが、現在行われているボランティアの中には、地域の方や保護者の方が継続的に活動してくださっているものもあります。そのいくつかを紹介します。

「原町サポーター」(地域ボランティア)

地域の相原重美さん、岡田玉代さん、遠山ひろみさんの3名の方が毎日日替わりで午後の時間、1～2年生子供たちの授業等を見守りサポートしていただいています。子供たちに寄り添い、学習の手助けをしていただいています。また、定期的に校内の消毒作業にもご協力いただいています。先日の懇談会では、別室であずかり児童の見守りもしていただきました。

「スクールガード」(地域ボランティア)

毎朝の登校では、保護者の皆様にも正門前と西中前の横断歩道2か所のスクールガードをお願いしているところですが、毎日、正門前とその他数ヶ所の交差点でスクールガードリーダーの永井紀一さんをはじめ17名の地域の方が子供たちの登下校の見守りをしてくださっています。永井紀一さんや櫻井良澄さんは毎年行われるプール清掃にもご協力いただいています。

「図書ボランティア」(保護者ボランティア)

現在12名のボランティアの皆さんが図書室の季節ごとの装飾や図書の整理をしていただいています。卒業式や入学式のメッセージボードも作っていただきました。読書好きの子供を増やすために精力的に活動をしていただいています。図書室前の廊下の掲示も見事です。去年は図書ボランティアの成田さんのご主人にもご協力いただき、古くなった本棚を新しく作りなおしていただいたりもしました。

「読み聞かせボランティア」(地域・保護者ボランティア)

毎月1回、子供たちに読み聞かせを行っていただいています。子供たちは読み聞かせが始まるとみんな一生懸命お話を聞こうと耳を傾けます。季節を感じるお話、心に響くお話、くすっと笑えるお話、一つ賢くなったと感じられるお話などなど、それぞれのボランティアの方が、子どもたちに聞いてもらいたいと思う本を選んで読み聞かせてくださっています。

教員だけでは担いきれない業務等について地域・保護者の方が支援してくださることで、教員が教育活動に専念でき、より多くの時間を子どもと向き合う時間にあてることが出来ます。

また、子供たちが多様な知識や経験を持つ地域の大人とふれあう機会が増え、また多様な学習活動や学校の環境整備等が一層図られます。

どなたでも、自分の意志で、無理のない程度に、できる人ができるときにできることをしてくださると学校といたしましても大変助かります。

学校支援ボランティアに興味関心を持っていただき、一人でも多くの地域や保護者の皆様のご協力をいただけることを期待しています。よろしく願いいたします。

